

# 音楽(一般)

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

| 1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長 |     |                                                                       |
|-------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|
| 共通<br>観点                                        | (1) | 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。                        |
|                                                 | (2) | ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。                        |
| 2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長           |     |                                                                       |
| 共通<br>観点                                        | (1) | 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。                                |
|                                                 | (2) | 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。             |
|                                                 | (3) | 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。                                  |
| 教科<br>独自<br>観点                                  | (4) | 表現領域の各分野及び鑑賞領域の関連を図ることができるような内容・構成になっているか。                            |
|                                                 | (5) | 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽の働きと関わらせて理解し、活用することができるよう工夫されているか。 |
|                                                 | (6) | 我が国の音楽に愛着をもち、世界の様々な音楽の多様性を認め、大切にしていこうとすることができるよう工夫されているか。             |
| 3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長 |     |                                                                       |
| 共通<br>観点                                        | (1) | 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。                                        |
|                                                 | (2) | 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。                    |
|                                                 | (3) | レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。                        |

## II 選定資料利用上の留意点

- 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

| 観点  | 発行者                                                                                     | 教 出                                                                                          | 教 芸                                                                                      |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長                                           |                                                                                              |                                                                                          |
| (1) | 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。                                          | 我が国で現在活躍している音楽家及び著名な作曲家のメッセージや思いを写真と共に掲載することで、親しみをもって音楽と豊かに関わりながら学ぶことができるよう配慮されている。          | 巻頭に、有名な音楽家や著名人の音楽との関わりに関するメッセージを掲載することで、音楽の学びと自らの生活とをつなぐことができるよう配慮されている。                 |
| (2) | ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。                                          | 郷土に伝わる民謡や伝統芸能では、「長崎ぶらぶら節」、「長崎くんちの龍踊」についての説明と写真が掲載されている。                                      | 郷土に伝わる民謡や伝統芸能では、「長崎ぶらぶら節」、「長崎くんちの奉納踊」についての写真が掲載されている。                                    |
| 2   | 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長                                                     |                                                                                              |                                                                                          |
| (1) | 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。                                                  | 「Sing Sing」では、歌うための準備や言葉の発音などをイラストや解説によって詳しく示すことで、歌唱の基礎的な技能を確実に習得できるよう工夫されている。               | 各学年の「MyVoice!」では、3年間を通じて習得する歌唱の基礎的な技能について示すことで、学年の発達段階に応じた基礎的な技能が確実に習得できるよう工夫されている。      |
| (2) | 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。                               | 楽曲を比べて学習を深める場面を設定することで、学習した知識や技能を活用して、音楽のよさや美しさに気付き、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。        | 「学びのコンパス」では、学習の手順を丁寧に示すことで、「何を考えるのか」「何を工夫するのか」が明確になり、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。   |
| (3) | 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。                                                    | 進んで学び合うための活動例「Active!」において、楽曲の特徴についてまとめたり、話し合ったりする場面を設定することで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。          | 学習を進める上でのヒントをキャラクターの吹き出しによって示すことで、各題材において課題意識をもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。                  |
| (4) | 表現領域の各分野及び鑑賞領域の関連を図ることができるような内容・構成になっているか。                                              | 「学習マップ」では、学習内容を領域・分野ごとに表示し、関係性について明示することで、表現及び鑑賞の教材を関連付けて学習できるよう配慮されている。                     | 目次の次には、表現領域の各分野及び鑑賞領域での学習内容と各教材との関係を明記することで、表現及び鑑賞の教材を関連付けて学習できるよう配慮されている。               |
| (5) | 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽の働きと関わらせて理解し、活用することができるよう工夫されているか。                   | 「Active」では、音楽を形づくっている要素をよりどころとした学習の進め方を示すことで、音楽の見方・考え方を働かせて学習を進めることができるよう工夫されている。            | 各目標の下に音楽を形づくっている要素を示すことで、その働きと奏法の関連について考えることができるよう工夫されている。                               |
| (6) | 我が国の音楽に愛着をもち、世界の様々な音楽の多様性を認め、大切にしていこうとすることができるよう工夫されているか。                               | 「どんな特徴があるかな?」では、音楽が、音色や旋律など、さまざまな要素から成り立っていることを簡単な鑑賞曲を用いて解説することで、それらの働きによる効果を理解できるよう工夫されている。 | 「学びのコンパス」では、着目する音楽を形づくっている要素をもとに、友達との意見交流をする場面を設定することで、音楽の働きについてより深めることができるよう工夫されている。    |
| (7) | 我が国の音楽に愛着をもち、世界の様々な音楽の多様性を認め、大切にしていこうとすることができるよう工夫されているか。                               | 歌唱共通教材では、複数の教材を並べて配置し、比較する場面を設定することで、言葉の発音や形式、フレーズなどの視点で日本歌曲の美しさや良さを味わうことができるよう工夫されている。      | 伝統芸能や民謡など幅広い分野から教材を取り上げ、音楽の一部を実際に体験できるよう配置することで、興味・関心をもち、実感を伴って鑑賞や歌唱の学習に取り組めるよう工夫されている。  |
| (8) | 我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを取り上げることで、音楽のもつ多様なよさや面白さについて理解し、大切にしていこうとすることができるよう工夫されているか。 | 我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを取り上げることで、音楽のもつ多様なよさや面白さについて理解し、大切にしていこうとすることができるよう工夫されている。       | 歌唱教材や鑑賞教材において、楽曲の共通点や相違点を見出す場面を設定することで、世界のさまざまな音楽の良さや多様性を理解し、大切にしていこうとすることができるよう工夫されている。 |
| 3   | 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長                                           |                                                                                              |                                                                                          |
| (1) | 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。                                                          | 歌唱共通教材では、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には注釈を加えて標記することで、歌詞の内容を味わいながら歌唱表現できるよう配慮されている。                       | 鑑賞教材では、あらすじや鑑賞のポイントを簡潔な文章で分かりやすく示すことで、ねらいに即した鑑賞活動が進められるよう配慮されている。                        |
| (2) | 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。                                      | 大きく鮮やかな写真を多数掲載することで、興味・関心を引き出し、歌詞の表す情景や楽曲について、視覚的なイメージをもって表現できるよう配慮されている。                    | 歌詞や楽譜などの近くにイラストや写真を配置することで、学習上必要な情報に注目しながら学習を進められるよう配慮されている。                             |
| (3) | レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。                                          | 文字の大きさや文中の改行位置、写真・図版や楽譜の大きさなどを工夫して掲載することで、発達段階や特別支援教育の視点にも配慮されている。                           | 歌詞の背景を基本的に白で統一したり、楽譜の線を太くしたりすることで、全体的に見やすく、特別支援教育の視点にも配慮されている。                           |